

東西条地域センターだより

東西条地域センター



第18号

令和8年2月25日発行

東西条地域センター TEL&FAX 082-421-2023

雪とけて 村いっぱいの 子どもかな (小林一茶)

季語は雪どけ(季節は春) 雪国の長い冬がようやく終わり、雪が解けた。家の中にいた子どもたちが一斉に外へ出て遊んでいて、村じゅうの子どもたちでいっぱいだ。

待ち遠しい遅い春を迎えた雪国の子どものはじけるような喜びがひしひしと伝わってきます。東西条地区は、決して雪国ではありませんが、今年は急に寒くなったり、暖くなったり、寒暖の激しい年となりました。体調の維持が大変だったのではないのでしょうか。しかし二月も終わりに近づき、本格的な春がやってこようとしています。少子高齢化の時代、子どもたちは地域の宝です、みんなで子どもたちを見守り支えていきましょう。



「1月はいぬ(る)、2月は逃げる、3月は去る」「光陰矢のごとし」と言いますが、月日の経つ速さを感じます。この時期受験シーズン真っただ中、新しい春に向け、体調管理を行い日々大切にしてください。

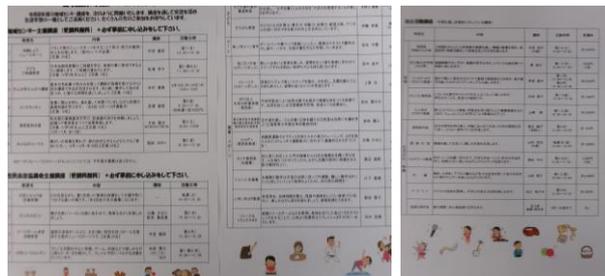


2月8日、前日から雪が降り続き、地域センターも濃く雪化粧になりました。つららが美しく青空に輝いていました。(センター長 折羽邦彦)

《市民一人、1学習・1スポーツ・1ボランティア》

東広島市教育委員会生涯学習推進のキャッチフレーズです。

令和7年度もあと1か月余りとなってまいりました。東西条地域センターも今年度のまとめと来年度を迎えるにあたっての準備を進めています。東西条まつりや主催講座等の開催、住民自治協議会や各種団体、自主活動講座でのご利用など多くの皆様方のご利用に感謝しています。令和8年度の講座開設ご案内は別紙にて各家庭に配付させていただきます。皆様のお申し込みをお待ちしています。(地域センター職員)



《東西条トピックス》

「第26回・さわやかウォークの日歩こうDAY」が3月1日(日)AM9時~開催されます。区民の皆様、ご参加ください! 健康づくりとコミュニケーションを図りましょう。

《 2週続けての選挙、投票会場として地域センターをご利用いただきました 》

2月1日（日）東広島市長選挙、翌週8日は衆議院議員選挙がありました。雪の影響で投票に来る人も、裏方で選挙事務に携わる市の職員さんも大変でしたが、お陰さまで無事終了しました。選挙では国民として国に対し意思を伝え、政治に参加する義務があると思います。政治に無関心はよくない、投票しても「世の中何も変わらない」ではなく、あなたの1票が明日を変えるかもしれないのです。次の選挙は、令和9年4月の統一地方選挙で、身近な東広島市議会議員選挙があります。明るく住みよい社会を望みます。
(センター長 折羽邦彦)

《 第35回東広島市生涯学習フェスティバルが開催されました 》

2月7日（土）8日（日）、「ひと・まなびの交差点 あなたが会うのはー」と題して「第35回東広島市生涯学習フェスティバル」が開催されました。東広島文化ホールくららと西条中央公園（美術館前）にて催され、7日13時から「東大卒クイズ王」伊沢拓司さんが「楽しいから始まる学び」の講演をされました。翌8日は、大ホールで「東広島市民ミュージカル」や小ホールで「わくわくステージ」の発表会がありました。私ども東広島市内・37地域センターは、1F市民ギャラリーを全面使って10地区ごと発表展示を行いました。テーマは「周辺5町合併20周年・市制51周年記念展開催＝発見」と銘打って、各地域で文化歴史芸能等の郷土遺産の紹介や地域センター主催講座の紹介などを行いました。2日間で来場者は630名、市民皆様からの関心の高さを嬉しく思いました。

今年4月は「くらら開設10周年」を迎えます。同じ社会教育・生涯学習に携わっている地域センター職員としても、図書館や美術館等の応援や地域センター主催講座や自主活動講座の紹介等、来館者が楽しく過ごしやすい環境・運営に励んでいきたいと思っています。是非皆様、最寄りの地域センターへ足をお運び下さい。
(市・地域センター長連絡会会長・折羽)



《 東西条小学校・4年生が「ペットボトルキャップ集め」依頼で来館！ 》

4年生は総合的な学習の中で環境問題の一環としてゴミの再利用について学んでいるそうです。取り組む中で、ゴミとして出されるペットボトルキャップ（2Kg）でポリオワクチン（1本）に変えられることが分かり集める事になりました。地域センターにも回収依頼があり、利用者の皆さまにも声をかけ回収を協力させていただきました。協力に対し感謝状までいただきました。人と人との協力で世界の貧困地域の医療を手助けする、まさにSDGsの行動を意識した小学校の児童活動だなと感銘を受けました。SDGs17の目標の1番大事な「1番・貧困をなくそう」「2番・飢餓をなくそう」世界中が戦争のない安定した社会になって欲しいものです。

